

路地百選推薦書

推薦者氏名：roji-ren niigata

推薦する路地（のまち）の名称	新潟町の下町（しもまち）＜日和山登山の道＞
所在地	新潟市中央区 柳島町～東堀通十三番町 界隈

【推薦する理由（路地のよいところ）】

河口に栄えた新潟町は、信濃川によって運ばれる土砂の堆積によって、新しい土地が生まれました。現在「新潟下町（しもまち）」と呼ばれるエリアです。

江戸時代、新潟湊のランドマークとして名所にもなった「日和山」＜東堀通十三番町＞、明治開港場としての歴史を今に伝える「旧新潟税関庁舎」（新潟市歴史博物館・みなとぴあ内＜柳島町＞）この二つの時代の新潟の「湊」と「港」を代表する名所を結ぶ「まちあるきルート」には、みなと、川、海に関わりのある名所旧跡、文化、生活、迷路のような路地の風景が数多く残っています。

<http://blogs.yahoo.co.jp/hiyoriyama5/61121718.html>

【写真添付】



路地	面積	約 ha	路地の延長	約 m
路地のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	江戸時代のはじめ、信濃川河口の湊町・新潟町は現在の位置より海岸寄りの砂丘の上にありました。しかし阿賀野川と信濃川が合流して湊が浅くなった為、川に近い場所へ町を移転する事となりました。明暦元（1655）年、信濃川の流れに沿った形で計画的につくられ完成した町が現在の新潟町です。 信濃川によって運ばれる土砂の堆積によって、新潟町の町はずれの部分に新たな土地が生まれ河口へと伸びて行きました。 拡大した土地には人が住み、明治開港後の変化とともに整備されました。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。